＜記号の見方＞
難易度（その学校の受験生にとってのレベル） A･･･標準　　B･･･難しい　　C･･･とても難しい
要求される能力 A･･･処理能力（多量速解型学習で対応できる問題） B･･･思考力（少量熟考型学習でないと対応できない問題）
目新しさ A･･･普通　　B･･･目新しい　C･･･斬新

学校名　武蔵　時間50分				
	分野	難易度	要求される能力	目新しさ
大問1　(1)	計算	A	A	A
(2)	平面図形（面積比）	A	B	A
大問2	条件整理	A	B	A
大問3	速さ	B	B	A
大問4　(1)	条件整理（場合の数）	B	B	A
(2)	条件整理（場合の数）	B	B	A

昨年度の問題との比較
レベル　↓↓　合否に必要な得点率75％

合格最低点　2002年　126／300　→　2003年　141／300

コメント
去年は大問1が斬新な難問だったので、算数で失敗した人が少なからずいたと思いますが、
今年は大問1が計算問題で全体的に問題のレベルも下がりました。
問題の配列も易しい問題から難しい問題へと並んでいますので、取り組みやすかったと思います。
大問1（1単純な計算問題です。一昨年も出ましたが、最近の男子一貫校の流れに逆行しています。
　　(2) 武蔵的な図形のパターン問題で、かなり易しめです。
大問2　武蔵的な条件整理の問題ですが、単純かつ易しめです。
大問3　これも武蔵的な速さの問題で、レベルは標準です。
大問4　これも武蔵お得意の場合の数の問題です。
　　「武蔵対策は過去問30年分を反復すれば十分」と言われていますが、去年はその定説を覆す問題が
　　いきなり大問1から出ました。算数の平均点が極端に低かったせいか、今年は点数を取らせようという
　　配慮が感じられます。

合否を分けた1題　大問4

Copyright © Tetsuya Miyamoto. All Rights reserved.